

食材納品支援ロボット

本館とレインボープラザから構成される横長に広いホテルにおいて、日々複数のレストランの厨房に対して食材の納品が行われている。納品場所から各所へは長距離搬送が必要なことから、職員の負担が大きく、食材納品支援ロボットを活用することによって、納品物の搬送自動化を行い、職員の搬送業務負担軽減を実現する。

ロボット名 CarriRo

実証時期

2022/11/21（月） - 2022/12/23（金）（予定）

実証フロア

食材の納品場所から中華厨房など

課題

- 食材の納品場所から中華料理を作る厨房までは百メートル近い距離があり、納品された食材の搬送に多くの対応工数を要している。
- 長距離かつ、重量物を搬送する必要があるため、職員の負担が大きく、搬送業務の効率化と負担の軽減が求められている。

自動走行可能な食材納品支援ロボットを活用することで、食材の納品場所と厨房間で、納品された食材の搬送業務を効率化する。

実証内容



従来の手押しによる
食材納品物の搬送作業



ロボットによる
自動走行搬送業務の実施

期待される効果

- 納品される食材の搬送業務を効率化し、職員の対応工数の削減及び負担の軽減。
- 食材納品物の搬送自動化により、職員同士の接触回数の削減。

